

第 36 期

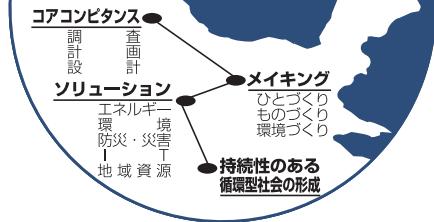
中間報告書

平成19年10月21日 >>> 平成20年4月20日



KITAC

大地と対話 地域と歩む



総合建設コンサルタント

株式会社 キタック

東京・仙台・北信越・長岡・佐渡・山形・福島

〒950-0965 新潟市中央区新光町10番地2
TEL (025) 281-1111 (大代表) FAX (025) 281-0001
<http://www.kitac.co.jp/>

R20 PRINTED WITH SOYINK!
印刷に配慮した「大豆インク」を使用しています。

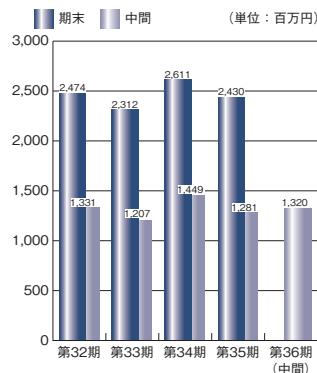
KITAC

株式会社 キタック

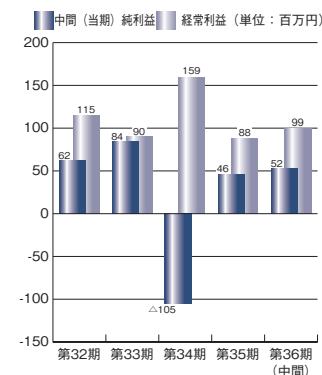
JASDAQ
証券コード 4707

●財務ハイライト

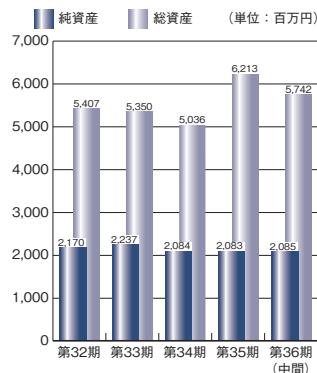
売上高



中間(当期)純利益／経常利益



純資産／総資産



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第36期中間期（平成19年10月21日～平成20年4月20日）の営業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

■当中間会計期間の概況と業績について

当中間会計期間におけるわが国経済は、原油をはじめとする原材料価格の高騰による物価の上昇に加えて、米国のサブプライムローン問題の発生に端を発する米国経済の減速と金融市場の混乱による株安・円高ドル安の進行などの影響により、個人消費は低迷し、さらには企業収益も減速懸念が強まるなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

その中で当社の属する建設コンサルタント業界の市場環境におきましては、地震や水害など自然災害に対する社会基盤整備への関心が高まってはいるものの、依然として国・地方自治体の慢性的な財政難を背景とした従来型公共投資予算の縮小傾向が続いており、さらには道路特定財源の問題による官公庁の発注遅れなどにより受注環境は大変厳しい状況でありました。

このような状況のもと、当社はより幅広い顧客層に対して積極的に営業展開をし、さらには品質向上・コスト削減に注力して受注の拡大と利益の確保に取り組んだ結果、昨年の中越沖地震に関連する繰越業務等の要因もあり、売上高13億2千万円（前年同期比3.0%増）、営業利益1億4千1百万円（同62.9%増）、経常利益9千9百万円（同60.4%増）、中間純利益5千2百万円（同81.4%増）となりました。

■通期の見通しと今後の取り組みについて

通期の見通しといたしましては、企業部門における原油高による原材料高騰への価格転嫁や、米国経済の低調傾向による円高株安などの影響が懸念され、個人消費も引き続き低迷が予想されるため、景気の先行きは不透明な状況が続くものと思われます。

このような環境のもと、当社の属する建設コンサルタント業界につきましても、国・地方自治体の財政事情等により削減傾向に歯止めがかからず、引き続き低水準で推移し、さらには道路特定財源の問題による官公庁の発注遅れなどにより、受注環境は大変厳しい状況ではありますが、当社としましては、積極的な営業展開をし、品質向上・コスト削減に注力して業績向上に努めてまいります。

通期の業績予想につきましては、平成19年12月7日に公表いたしました「平成19年10月決算短信（非連結）」の業績予想に変更はありません。売上高24億6千8百万円（対前期増減率1.6%増）、営業利益1億6千5百万円（同10.7%増）、経常利益1億2百万円（同15.9%増）、当期純利益4千6百万円（同1.2%増）を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年7月
代表取締役社長 中山輝也



KITAC

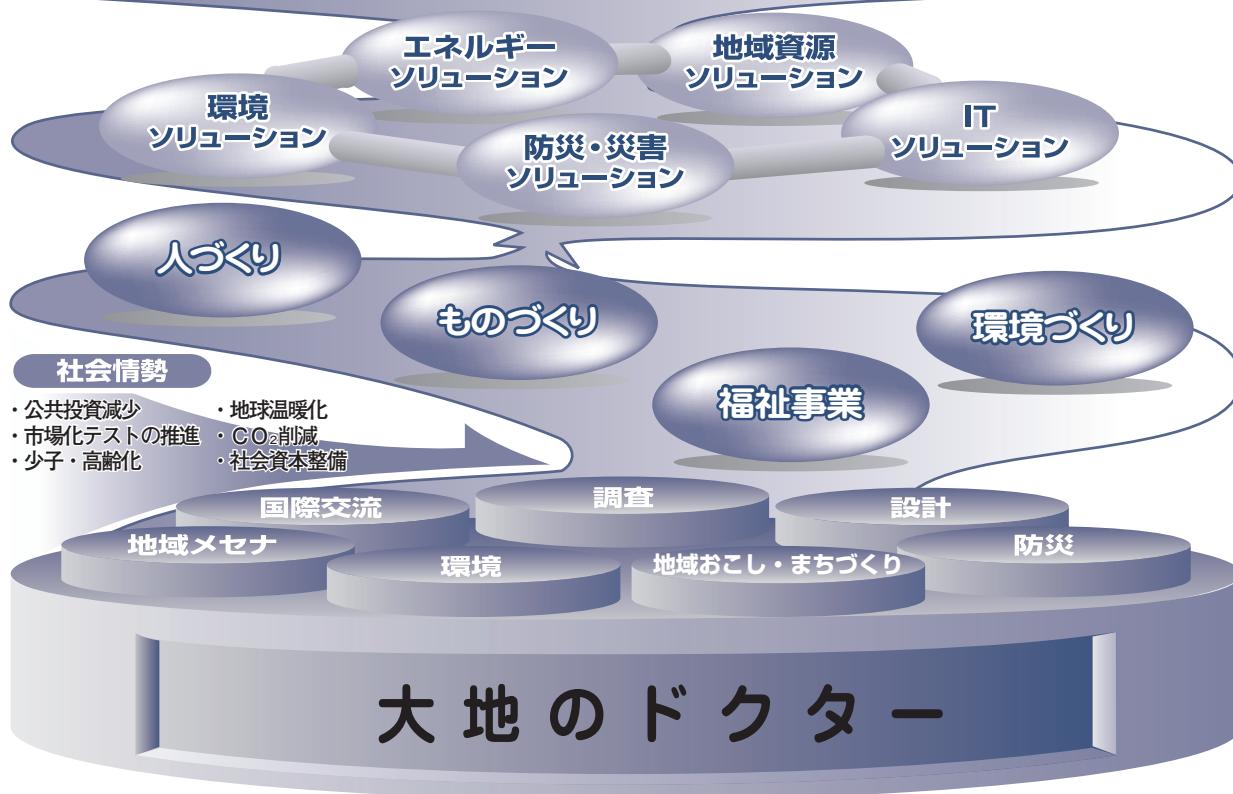
CONTENTS

- 株主の皆様へ……1
- 主要事業の内容……2
- 中間貸借対照表……4
- 中間損益計算書……5
- 中間株主資本等変動計算書……6
- 中間キャッシュ・フロー計算書……7
- 事業の概要・株主メモ……8
- 会社概要……9

主要事業の内容

当社の業務遂行の基本理念

地域の地形・地質・文化・風土を良く理解し、優れた技術と最新の知的サービスを顧客に提供することで、国民の安全と安心に貢献します。



社会情勢

- ・公共投資減少
- ・市場化テストの推進
- ・少子・高齢化
- ・地球温暖化
- ・CO₂削減
- ・社会資本整備

美しい緑と水辺と大地を求めて

業務内容

■ 地質調査・試験・解析・評価

- 土質、地質
- 地下空洞及び海底
- 地下水、地熱、地下資源

■ 環境調査・分析・解析・評価

- 環境アセスメント・環境基本計画
- 土壌、地下水汚染
- 埋蔵文化財調査

■ 土木設計

- 道路、橋梁、トンネル設計・土木構造物、地盤設計・河川、砂防、海岸設計・下水道、ダム設計・防災設計補修設計

■ 地域計画

- 都市、公園
- 地域開発、地域活性化計画
- GIS及び三次元衛星画像企画、販売

■ 建設及び環境関連機械の販売

- CG制作・広告宣伝等の企画、印刷、出版
- 教育文化福祉健康事業

中間貸借対照表 (平成20年4月20日現在)

●中間貸借対照表

(単位:千円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|---------------|-----------|----------------|-----------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 736,531 | 流動負債 | 1,328,564 |
| 現金及び預金 | 77,036 | 業務未払金 | 103,530 |
| 受取手形 | 981 | 短期借入金 | 497,953 |
| 完成業務未収入金 | 407,357 | 一年以内償還予定の社債 | 328,000 |
| たな卸資産 | 203,031 | 未払法人税等 | 48,497 |
| 繰延税金資産 | 29,607 | 未成業務受入金 | 138,342 |
| その他 | 19,613 | 賞与引当金 | 41,642 |
| 貸倒引当金 | △1,096 | 業務損失引当金 | 7,090 |
| 固定資産 | 5,006,440 | その他 | 163,509 |
| 有形固定資産 | 4,740,595 | 固定負債 | 2,329,057 |
| 建物 | 355,451 | 社債 | 530,000 |
| 工具器具備品 | 406,735 | 長期借入金 | 1,553,415 |
| 賃貸資産 | 1,474,169 | 退職給付引当金 | 60,149 |
| 土地 | 2,486,589 | 役員退職慰労引当金 | 170,689 |
| その他 | 17,649 | その他 | 14,803 |
| 無形固定資産 | 16,100 | 負債合計 | 3,657,622 |
| 投資その他の資産 | 249,744 | (純資産の部) | |
| 投資有価証券 | 103,602 | 株主資本 | 2,087,116 |
| 繰延税金資産 | 100,552 | 資本金 | 479,885 |
| その他 | 45,625 | 資本剰余金 | 306,201 |
| 貸倒引当金 | △36 | 資本準備金 | 306,201 |
| 資産合計 | 5,742,971 | 利益剰余金 | 1,411,467 |
| | | 利益準備金 | 48,207 |
| | | 買換資産圧縮積立金 | 20,651 |
| | | 別途積立金 | 1,110,000 |
| | | 繰越利益剰余金 | 232,608 |
| | | 自己株式 | △110,436 |
| | | 評価・換算差額等 | △1,767 |
| | | その他有価証券評価差額金 | △1,767 |
| | | 純資産合計 | 2,085,349 |
| | | 負債純資産合計 | 5,742,971 |

(注) 1.有形固定資産の減価償却累計額…1,240,376千円

2.担保に供している資産 流動資産及び有形固定資産…4,198,668千円

3.自己株式の数…368,184株

中間損益計算書 (自平成19年10月21日 至平成20年4月20日)

●中間損益計算書

(単位:千円)

| 科 目 | 金 額 | |
|--------------|--------|-----------|
| 売上高 | | 1,320,370 |
| 売上原価 | | 896,015 |
| 売上総利益 | | 424,355 |
| 販売費及び一般管理費 | | 282,547 |
| 営業利益 | | 141,807 |
| 営業外収益 | | 7,685 |
| 営業外費用 | | 49,945 |
| 経常利益 | | 99,548 |
| 特別利益 | | 237 |
| 特別損失 | | 34 |
| 税引前中間純利益 | | 99,751 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 45,763 | |
| 法人税等調整額 | 1,603 | 47,366 |
| 中間純利益 | | 52,384 |

(注) 1株当たりの中間純利益 (期中平均発行済株式総数により算出) …9円35銭

中間株主資本等変動計算書 (自平成19年10月21日 至 平成20年4月20日)

●中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間

| | 株主資本 | | |
|----------------------------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 |
| 平成19年10月20日残高 (千円) | 479,885 | 306,201 | 306,201 |
| 中間会計期間中の変動額 | | | |
| 剰余金の配当 | — | — | — |
| 中間純利益 | — | — | — |
| 株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額 (純額) | — | — | — |
| 中間会計期間中の変動額合計 (千円) | — | — | — |
| 平成20年4月20日残高 (千円) | 479,885 | 306,201 | 306,201 |

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------------|--------|-----------|-------------|---------|-----------|
| | 利益剰余金 | | | | |
| | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | | 利益剰余金合計 |
| 買換資産 圧縮積立金 | | 別途 積立金 | 繰越利益 剰余金 | | |
| 平成19年10月20日残高 (千円) | 48,207 | 20,651 | 1,110,000 | 222,230 | 1,401,089 |
| 中間会計期間中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | — | — | — | △42,006 | △42,006 |
| 中間純利益 | — | — | — | 52,384 | 52,384 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | — | — |
| 株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額 (純額) | — | — | — | — | — |
| 中間会計期間中の変動額合計 (千円) | — | — | — | 10,377 | 10,377 |
| 平成20年4月20日残高 (千円) | 48,207 | 20,651 | 1,110,000 | 232,608 | 1,411,467 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|----------------------------|----------|-----------|------------------|----------------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 平成19年10月20日残高 (千円) | △110,409 | 2,076,766 | 6,481 | 6,481 | 2,083,248 |
| 中間会計期間中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | — | △42,006 | — | — | △42,006 |
| 中間純利益 | — | 52,384 | — | — | 52,384 |
| 自己株式の取得 | △27 | △27 | — | — | △27 |
| 株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額 (純額) | — | — | △8,248 | △8,248 | △8,248 |
| 中間会計期間中の変動額合計 (千円) | △27 | 10,349 | △8,248 | △8,248 | 2,101 |
| 平成20年4月20日残高 (千円) | △110,436 | 2,087,116 | △1,767 | △1,767 | 2,085,349 |

中間キャッシュ・フロー計算書 (自平成19年10月21日 至 平成20年4月20日)

●中間キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:千円)

| 科目 | 金額 |
|----------------------------|---------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー(うち、減価償却費) | 393,190 (47,573) |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー(うち、設備投資額) | △313,669 (△313,669) |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー(うち、配当金) | △382,934 (△42,006) |
| 現金及び現金同等物の減少額 | △303,413 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 380,450 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 77,036 |

■キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の増加はありましたが、投資活動ならびに財務活動による資金の減少により、当中間会計期間末には7千7百万円となりました。(営業活動によるキャッシュ・フロー)

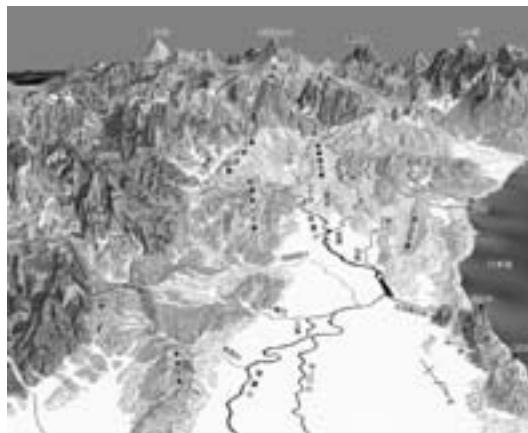
営業活動の結果得られた資金は、3億9千3百万円となりました。これは、主に税引前中間純利益9千9百万円、減価償却費4千7百万円、売上債権の減少額5千8百万円、未成業務受入金の増加額1億1千万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億1千3百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出3億1千3百万円があったためであります。(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3億8千2百万円となりました。これは、主に長期借入金の借入による収入2億円があったものの、短期借入金の純減少額4億円と長期借入金の返済による支出1億2千6百万円等があったためであります。

先進技術をあらゆる場面へ



新潟から信濃川の上流側を見た立体地質図

当社では、専門知識がないと理解が難しい地質を顧客や一般の方にも理解できる表現の工夫が必要と考えており、ビジュアルで理解しやすい成果を作成するために衛星画像やGISなどの先端技術を活用しています。

事業の概要 (平成20年4月20日現在)

●受注状況・販売実績

(単位:千円)

| 区 分 | 前中間会計期間 (自 平成 18 年 10 月 21 日 至 平成 19 年 4 月 20 日) | | 当中間会計期間 (自 平成 19 年 10 月 21 日 至 平成 20 年 4 月 20 日) | |
|-------------|--|-----------|--|-----------|
| | 受注状況 | 販売実績 | 受注状況 | 販売実績 |
| 建設コンサルタント事業 | 1,079,301 | 1,214,814 | 946,163 | 1,249,830 |
| その他事業 | — | 67,143 | — | 70,540 |
| 合 計 | 1,079,301 | 1,281,957 | 946,163 | 1,320,370 |

●営業成績および財産状況の推移

| 区 分 | 前中間会計期間 (自 平成 18 年 10 月 21 日 至 平成 19 年 4 月 20 日) | | 当中間会計期間 (自 平成 19 年 10 月 21 日 至 平成 20 年 4 月 20 日) | |
|------------|--|-----------|--|-----------|
| | 売上高(千円) | 1,281,957 | | 1,320,370 |
| 経常利益(千円) | 62,050 | | 99,548 | |
| 中間純利益(千円) | 28,884 | | 52,384 | |
| 1株当たり中間純利益 | 5円16銭 | | 9円35銭 | |
| 総資産額(千円) | 5,671,429 | | 5,742,971 | |

株主メモ

| | |
|----------------|---|
| 事業年度 | 10月21日から翌年10月20日まで |
| 定時株主総会 | 毎年1月 |
| 株主総会の基準日 | 毎年10月20日 その他必要があるときは予め公告いたします。 |
| 配当金受領 株主確定日 | 10月20日 なお、中間配当を実施するときの 株主確定日は4月20日。 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告の方法 | 電子公告 ※ ※(公告掲載URL http://www.kitac.co.jp/) 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行う ことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 株主名簿管理人 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店 |
| 同事務取扱所 | 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行事務センター (〒168-0063) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) |
| 同取次所 | 中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店 |

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

●フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)

●ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

会社概要 (平成20年4月20日現在)

| | | | |
|-------|--|--|--|
| 名 称 | 株式会社キタック KITAC CORPORATION | | |
| 設 立 | 昭和48年2月1日 | | |
| 資 本 金 | 4億7,988万5,200円 | | |
| 従業員数 | 131名 | | |
| 役 員 | 代表取締役社長 中山 輝 也 専務取締役 大谷 政 敬 専務取締役 小野塚 真 一 常務取締役 鈴木 嘉 行 取締役 木野井 彰 取締役 平野 吉 彦 取締役 荒井 進 監査役 坪川 行 雄 監査役 安尻 利 行 | | |

事業所所在地

| | |
|--------|---|
| 本 社 | 〒950-0965 新潟県新潟市中央区新光町10番地2 TEL (025) 281-1111 (大代表) FAX (025) 281-0001 |
| 東京支店 | 〒111-0051 東京都台東区蔵前2-4-5 岩金ビル2F TEL (03) 5687-1271 (代) FAX (03) 5687-5379 |
| 仙台支店 | 〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-1-37 キタックビル2F TEL (022) 265-1050 (代) FAX (022) 265-1051 |
| 北信越事業所 | 〒942-0085 新潟県上越市五智国分3121-4 TEL (025) 543-9777 (代) FAX (025) 543-9922 |
| 長岡事務所 | 〒940-0864 新潟県長岡市川崎5-360-1 TEL (0258) 31-7320 (代) FAX (0258) 31-7322 |
| 佐渡事業所 | 〒952-1209 新潟県佐渡市千種丙207-1 TEL (0259) 61-1666 (代) FAX (0259) 61-1655 |
| 山形事務所 | 〒990-0021 山形県米沢市大字花沢2930 TEL (0238) 24-4140 (代) FAX (0238) 24-5652 |
| 福島事務所 | 〒963-8803 福島県郡山市横塚3-4-7 TEL (024) 956-6366 (代) FAX (024) 941-3322 |

地域メセナーゆとりと潤いを地域に還元ー



知足美術館